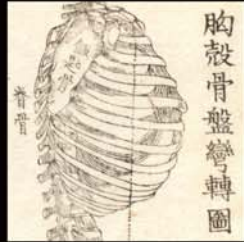


公開シンポジウム

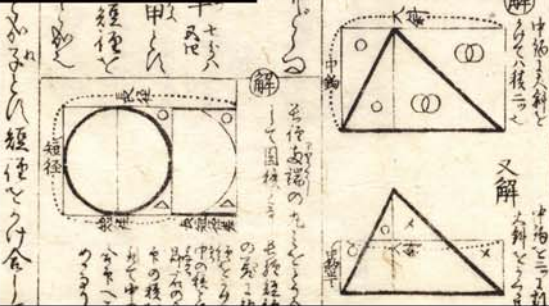
日本語の歴史的典籍データベースが切り拓く研究の未来

日本学術会議の提唱により、国文学研究資料館が実施主体となって開始した、文系初の大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」のシンポジウム。

文系、理系諸分野で活躍する研究者が、日本語の歴史的典籍を対象に具体的な研究事例を報告し、異分野にまたがる新しい研究のかたちを追求する。



無入場料 **自聴由講**



日時：平成27年 7月25日 日
13:30~17:00

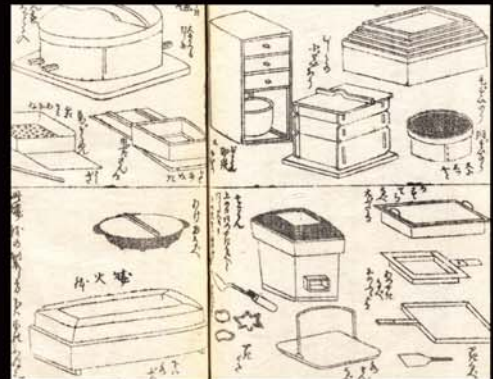
会場：日本学術会議 講堂
(東京都港区六本木7-22-34)
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」5番出口

主催：日本学術会議 言語・文学委員会、科学と日本語分科会、
古典文化と言語分科会、文化の邂逅と言語分科会
共催：国文学研究資料館

プログラム

司会：谷川 恵一（日本学術会議連携会員、国文学研究資料館副館長）

- 13:30-13:40 開会の挨拶 長島 弘明（日本学術会議会員、東京大学教授）
- 13:40-14:10 「日本語の歴史的典籍データベースの構想」
今西 祐一郎（日本学術会議連携会員、国文学研究資料館長）
- 14:10-14:40 「和算資料が示唆する数学の将来」
上野 健爾（四日市大学研究機構関孝和数学研究所長）
- 14:40-15:10 「文理にまたがる古医書の研究」
ミヒエル、ヴォルフガング（九州大学名誉教授、日本医史学会常任理事）
- 15:10-15:25 休憩
- 15:25-15:55 「日本古典籍からみた料理文化の展開—料理書から料理本へ」
原田 信男（国士館大学教授）
- 15:55-16:25 「東アジア文献アーカイブスの現状と未来」
内田 慶市（関西大学図書館長）
- 16:25-16:55 討議
- 16:55-17:00 閉会の挨拶 木部 暢子（日本学術会議会員、国立国語研究所副所長）



問い合わせ

国文学研究資料館 古典籍共同研究事業センター事務室 古典籍共同研究係

TEL 050-5533-2988 E-Mail cijinfo@nijl.ac.jp

